

事務事業名		農業集落排水施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	整備維持グループ	課長名	土井隆宣	
	施策名	(16)下水道の整備		担当者名	渡部高志	電話番号	0854-42-3471	
	目的:対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。		(内線)	4612	
	基本事業名	(044)下水道施設の整備		予算科目	会計 2 5 1 5 0 1 1	大事業名	雲南市地区施設整備事業	
目的:対象	下水道未整備区域の市民	意図	下水道に排水できるように整備する。		項目	1 0 1 0 0 1	中事業名	雲南市地区施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 32 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	平成27年度採択の機能強化計画に基づき農業集落排水施設(8地区)の機能強化対策工事を実施する。 実施地区:宇治神原、加茂南、三代、平田、一宮、多久和、里坊、中野六神 平成30年度から機能保全事業として3地区の機能診断業務を実施する。 実施地区:日登、伊萱、吉田

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 実施地区 宇治神原、加茂南、多久和 詳細設計・更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式	30年度計画(30年度に計画する主な活動) 実施地区 宇治神原、三代、一宮 多久和、里坊、中野六神 更新工事 処理施設・ポンプ施設等 1式 機能診断業務 日登、伊萱、吉田			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	事業実施地区	地区	8	8	8	8
イ	機能強化事業(処理施設)	地区	0	6	3	2
ウ	機能強化事業(ポンプ施設)	箇所	0	3	2	4
エ	機能診断調査地区	地区	0	0	0	3

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	供用開始から7年以上を経過した集落排水処理施設	ア	事業地区処理人口	人	4,846	4,800	4,750	4,750
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
機能強化事業により、処理施設及び中継ポンプ所の機械電気設備の更新(長寿命化)を行う。	ア	事業地区接続人口	人	4,510	4,422	4,387	4,387	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)	
工事請負費 20,092千円	財源内訳	国庫支出金	千円	1,200	17,548	10,000	13,000
計 20,092千円		県支出金	千円				
		地方債	千円		17,500	10,000	13,100
		その他	千円	1,284	15,478	92	
		一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円	2,484	50,526	20,092	26,100	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	200	1,200	1,200	
		人件費計(B)	千円	783	4,760	4,892	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,267	55,286	24,984		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・農業集落排水施設については22箇所あり、供用開始からかなりの年数が経ったものもあり、老朽化が顕著である。	・平成27年度8地区について機能強化対策事業計画を作成し、平成30年度に工事完了予定である。 ・汚水処理施設整備構想に基づき、下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合を実施していく。	・施設の維持管理業者から、老朽化した機械設備等について早急な修繕又は施設改善の要望が寄せられている。

事務事業名	農業集落排水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	--------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	供用開始から7年を経過した施設の8地区について、平成27年度に機能強化対策事業の計画概要書を作成した。平成30年度に工事が完了する。平成30年度から機能保全事業を開始する。隣接する農業集落排水処理区を下水道へ統合することにより市全体の成果の向上が図れる。																			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由	今後も農業集落排水施設の改築や更新に必要な事業である。																	
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		雲南市汚水処理施設整備構想 公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	汚水処理施設整備構想による農業集落排水施設の統合に取り組む。																				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	機能保全事業など交付金を活用した事業に取り組む。 汚水処理施設整備構想に基づき、処理場施設の削減を図る。																				
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	平成28年度は委託及び工事であり、削減余地はない。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	機能強化対策工事については、受益者等の負担はなく、公平である。 平成30年度において受益者分担金等の見直しを図る。																				
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である																					
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		・農業集落排水施設の修繕や更新は、必要不可欠である。事後保全から、予防保全へシフトすることが必要である。 ・面整備については完了したが、経年による機械設備の劣化が課題となっている。そのため平成27年度作成した機能強化対策計画に基づき改築・更新工事を実施している。																		
3 今後の方向性【PLAN】	① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																					
<p>・平成27年度作成した機能強化対策計画に基づき、平成28年度から施設の改築・更新工事を実施している。</p> <p>・管路台帳をデータベース化したことにより、管路の維持管理・迅速な処理・災害対応・精度改善などの向上が図れる。</p> <p>・汚水処理施設整備構想に基づき、下水道、農業集落排水処理施設の連携・統合を実施していく。</p>			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	●																					
維持			×																			
低下		×	×																			